

平成28年度一般会計予算54億1千万円

前年度比+3億円(5.9%増)

○一般会計予算の内訳

歳出目的	H28		参考 (H27 構成割合)			
	金額 億円	構成割合 %	川崎町 %	村田町 %	蔵王町 %	丸森町 %
議会費	1.1	2.0	2.3	1.8	2.1	1.6
総務費	7.3	13.6	15.2	15.0	14.6	15.8
民生費	10.7	19.7	21.1	24.3	25.7	24.6
衛生費	7.4	13.7	16.6	14.5	14.2	12.0
労働費	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.1
農林水産業費	2.9	5.3	5.5	3.9	3.0	8.0
商工費	1.5	2.8	3.1	1.3	2.2	4.7
土木費	9.9	18.3	11.1	10.0	10.0	11.4
消防費	2.3	4.2	4.6	3.4	4.0	4.6
教育費	8.3	15.4	15.4	12.0	14.5	6.4
公債費	2.5	4.6	4.7	13.7	8.8	10.6
その他	0.2	0.4	0.2	0.0	0.9	0.2
合計	54.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

重点政策事業

☆は平成28年度からの新規事業です。

1. 人口減少・少子化対策の充実

- ①2人目以降の小・中学校給食費無償化 850万円☆
- ②第1子からの誕生祝金支給事業 550万円
- ③乳幼児応援助成券支給事業 660万円
- ④中学生以下のこども医療費無償化
2,800万円
- ⑤結婚活動支援事業 160万円
- ⑥空き家バンクへの移住定住補助事業 528万円



2. 高齢者福祉の向上

- ①インフルエンザ等予防接種・乳がん検診助成
1,084万円
- ②敬老会、老人クラブ助成等高齢者福祉対策事業
1,116万円



3. 農業振興の充実

- ①前川地区ほ場整備県営事業負担金 4,280万円
- ②農業用水路等整備事業(立野地区他) 2,300万円
- ③有害鳥獣対策事業 1,722万円



4. 生活基盤・インフラ整備の充実

- ①(仮称)北川原山町営住宅整備事業
4億6,583万円
- ②町道裏丁2号線、町道川向線町道改良事業
1億1,689万円☆



5. 教育環境の向上

- ①川崎小、川崎・富岡中学校トイレ改修事業 4,165万円
- ②基石児童教室増改築事業 1,496万円

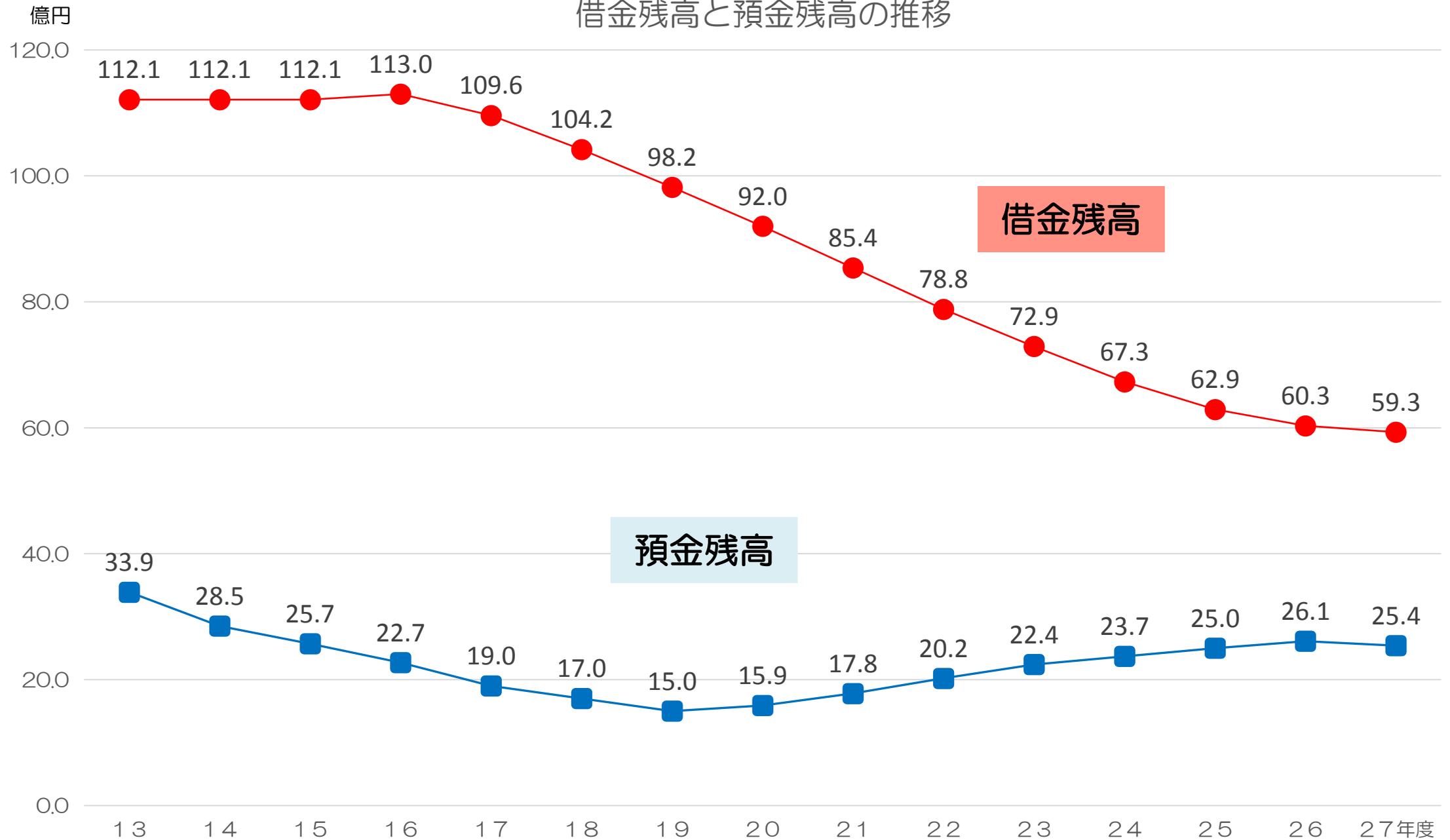
6. 消防防災体制の整備

- ①本砂金消防ポンプ車車庫・防火貯水槽整備事業
2,921万円
- ②避難所AED・備蓄品購入等災害対策事業
576万円



川崎町全会計の借金と預金

借金残高と預金残高の推移



空き家バンクを活用した移住定住事業

1. 空き家バンクの概要

平成25年度から開始した「空き家バンク」とは、空き家の所有者が登録した物件を、「買いたい!」「借りたい!」と希望する利用者へ紹介する制度です。

登録及び利用に関する費用は無料となっており、役場が所有者と利用者との橋渡しをします。

2. 空き家バンクと移住者を結ぶ

少子高齢化や人口減少問題に対し、空き家バンクを活用した移住定住事業を実施しています。具体的には、川崎町に移住を希望する方へ空き家バンクの物件を紹介し、場合によっては、移住者補助金を交付します。

3. 空き家の情報提供についてお願い

物件管理費や固定資産税など、空き家が所有者にとって大きな負担となっています。また、地域住民にとってもコミュニティの低下や景観の悪化等の問題にもなります。

これらの空き家は、所有者や地域にとってマイナス財産とも言える場合がありますが、空き家バンクを通して移住希望者へ利用してもらうことにより、プラスの財産に生まれ変わります。

所有者、利用者、地域全体が空き家バンクを通して良い効果を生み出すことができますが、役場が把握している空き家は一部に過ぎません。

空き家の状況を一番ご理解されているのは地域の皆様です。

皆様が知っている空き家がある場合は、是非、地域振興課へ教えてください。

■移住者補助金一覧

種類	補助率等	補助限度額
住宅修繕改修補助金	住宅の修繕改修に要した経費の2分の1	100,000円
引っ越し補助金	引っ越しに要した経費の2分の1	100,000円
住宅取得補助金	住宅の取得に要した経費の2分の1 ※住宅ローンを組んだ場合は、返済に要する経費の2分の1とし、完済前であっても申請できる。	500,000円
住宅家賃補助金	賃貸借契約に定められた賃借料の月額(共益費、駐車場料金その他の居住以外の費用を除く。)家賃から3万円を控除した額	月額 10,000円

■空き家バンクを利用した移住者数

※平成28年6月末までに登録のあった33物件に対する移住者数。

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
—	—	6世帯15人 (うち未成年3人)	4世帯8人 (うち未成年3人)

有害鳥獣対策の実施状況について

■平成28年度 有害鳥獣対策予算

- ・駆除に対する経費(国・県・町) 848万円
- ・防止に対する経費(町：電気柵) 872万円 **合計 1,720万円**

① 個人：経費の60%以内とし、1申請あたり30万円を限度とする。

② 広域：耕作者数が3戸以上で80%以内とし、1申請あたり160万円を限度とする。

※上記、電気柵の設置に伴う補助金は、個人と広域(3戸以上)に分かれており、補助率・限度額共に仙南2市7町において最も高い内容となっています。特に広域(3戸以上)に対する補助金は川崎町独自の施策であります。

■駆除体制等について

川崎町有害鳥獣捕獲隊(隊員数26名)に対して、イノシシ、熊、カルガモ等の駆除を委託。

○有害鳥獣捕獲状況 (H28.3.31現在)

主要対象	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	過去5年実績
イノシシ	37	96	242	233	165	773
クマ	0	9	2	9	1	21
サル	3	3	13	46	19	84
合計	40	108	257	288	185	878

○有害鳥獣対策に対する支援(町単独)

- ・委託費 272万円
- ・活動助成金 20万円
- ・狩猟免許受験手数料等補助 10万円

○国・県の補助を活用した支援

- ・緊急捕獲活動交付金 208万円(駆除1頭につき8,000円)
- ・鳥獣害広域対策負担金 338万円(追い払い、生息域調査など)

■有害鳥獣の防除対策

- ・農産物を有害鳥獣から保護し、安定生産を図るため町内に住所を有する団体並びに個人に有害鳥獣防止施設の導入に要する経費について、交付しているものです。

※電気柵補助金集計表 (万円)

区分	H25年度		H26年度		H27年度		合計(過去3年)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人	42	460	64	695	43	419	149	1,574
広域	3	235	5	369	8	428	16	1,033
合計	45	695	69	1,064	51	847	165	2,607

町営住宅建替事業((仮称)北川原山町営住宅)

建替場所

川内字北川原山228-4 面積約 5,530㎡



現在の状況(敷地造成)



建築計画



「町営住宅建替の経緯」

町内には、5団地138戸の町営住宅が整備されています。
 中原住宅は、昭和41～43年に木造戸建住宅として整備され、現在16世帯が入居しています。
 伊勢原住宅は、昭和44～48年に木造長屋住宅18戸、木造戸建住宅24戸が整備され、現在36世帯が入居しています。
 北原住宅は昭和52～60年に木造長屋住宅40戸、木造戸建住宅22戸が整備され、現在61世帯が入居しています。
 青根厚生住宅は、昭和46～47年に木造戸建住宅6戸が整備され、青根沼の平アパートは昭和29年に鉄筋コンクリート造8戸分が整備され、現在8世帯が入居しています。
 いずれの住宅も建築から相当の年数が経過しているため、老朽化による建物や設備の劣化が著しく、居住環境の悪化が以前から指摘されてきました。
 以上のことを踏まえ、町はこれからの町営住宅の長寿命化を図るために必要な整備計画を策定し、平成27年度より町営住宅の建替事業を進めているところであります。

【(仮称)北川原山町営住宅】

町内の町営住宅の中で特に老朽化による劣化が著しい中原住宅の建替え分として、現在川内北川原山地内において敷地の造成工事を進めており、平成28年度では国からの補助金を活用して住宅の建築工事を行います。
 住宅の形態は、北原住宅に整備されている木造戸建住宅と同程度のものを予定しており、最終的には11棟(2戸1棟型)22世帯分を整備したいと考えております。
 ※ A棟型: 建築面積約118㎡ × 8棟
 B棟型: 建築面積約94㎡ × 3棟